

痛み学入門講座

◆ 39 ◆



森本昌宏（もりもと・まさひろ） 大阪なんばクリニック本部長。平成元年、大阪医科大学大学院修了。同大講師などを経て、22年から近畿大学医学部麻酔科教授。31年4月から現職。医学博士。日本ペインクリニック学会名誉会員。

哲学者、ニーチェは激しい頭痛発作に苦しみ、ついには発狂した。12歳時に激烈な目の痛みを自覚し、目の結膜の充血、瞳孔の左右不同などを伴っていたとする点からは、典型的な「群発頭痛」であったと考えられている。なお、この群発頭痛（cluster headache）の「房」を意味している。現在、国際頭痛分類では、群発頭痛は「三叉神経・自律神経性頭痛」とのカテゴリで捉えられており、その発症には三叉神経と自律神経の関与が考えられている。つまり、「片頭痛」と同じく脳の血管（内頸動脈などの太い血管）が拡張した結果、その血管周

頭痛のなかでも最大級の痛み

囲に炎症が起こり、三叉神経が興奮する（これにより血し、瞳孔が縮んで、流計が存在する）の機能不全も推察されている。圧的に男性（女性の約3〜7倍）に多く、20〜40歳代で発症する。群発地震のような発作が、一定期間（年に1〜数回、数週〜数年間継続）が、この期間は「目がかすむ」といった前駆症状を自覚したら、まずスマートリプタンの皮下注射であり、酸素の吸入である。これらによって血管が収縮し、発作が治まるのだ。酸素吸入のためには、医療用の酸素吸入装置を業者から借りることが可能である。発作期間中には、何

群発頭痛



イラスト 松原知美

から、視床下部（体内時計が存在する）の機能不全も推察されている。圧的に男性（女性の約3〜7倍）に多く、20〜40歳代で発症する。群発地震のような発作が、一定期間（年に1〜数回、数週〜数年間継続）が、この期間は「目がかすむ」といった前駆症状を自覚したら、まずスマートリプタンの皮下注射であり、酸素の吸入である。これらによって血管が収縮し、発作が治まるのだ。酸素吸入のためには、医療用の酸素吸入装置を業者から借りることが可能である。発作期間中には、何

（）の服用によっても誘発される。痛みはすべての頭痛のなかでも激しく、片側の「目の球を挟られるような」「目に焼け火箸を突っ込まれたような」など表現される。発作の予防には、カルシウム拮抗薬（高血圧や狭心症の治療薬）のひとつであるベラパミル（ワソラン）ニ「ニーチェの思想」(amorfati) (運命愛) にはこの頭痛の存在が大きく貢献したとする説がある。頭痛に限らず、痛みは極めて個人的な体験であり、他人には理解し得ない。しかし、強い痛みを体験として持っている場合、他人の痛みを少しは共有できるのではないだろうか？ 文学者や思想家に頭痛持ちが多いこの事実は、これを裏付けている。

第1、3日曜日に掲載します。